

CONTENTS

第1章 バックアップ・リカバリ概要

- 1. 障害とバックアップ・リカバリ----- 1-1
- 2. 障害発生時のエラーの把握----- 1-3

第2章 インスタンス障害とリカバリ

- 1. 障害復旧に備えた仕組み----- 2-1
- 2. インスタンス障害からのリカバリ----- 2-7

第3章 メディア障害とバックアップ・リカバリ

- 1. メディア・リカバリ概要----- 3-1
- 2. ファイルの多重化----- 3-7
- 3. アーカイブ・モードの設定----- 3-9
- 4. バックアップ概要----- 3-13
- 5. 一貫性バックアップ（オフライン・バックアップ）----- 3-15
- 6. 非一貫性バックアップ（オンライン・バックアップ）--- 3-19
- 7. メディア・リカバリに必要なファイルの管理----- 3-27
- 8. 障害時の対応（完全リカバリ）----- 3-31
- 9. 障害時の対応（不完全リカバリ）----- 3-37
- 10. 論理バックアップを使用したリカバリ----- 3-45

第4章 メディア・リカバリのケーススタディ

- 1. ケーススタディ概要----- 4-1
- 2. 制御ファイル：多重化したうちの1つに障害----- 4-5
- 3. 制御ファイル：多重化した全てのファイルに障害----- 4-7
- 4. REDO ログ・ファイル：多重化したうちの1つに障害----- 4-15
- 5. REDO ログ・ファイル：全メンバーに障害（CURRENT）--- 4-19
- 6. データファイル：NOARCHIVELOGモードでのリカバリ----- 4-23
- 7. データファイル：アーカイブ欠落による不完全リカバリ- 4-25

CONTENTS

補足 メディア・リカバリのケーススタディ

1. 制御ファイル：もとの場所にリストアできない-----	補-1
2. 制御ファイル：再作成スクリプトを使ったリカバリ-----	補-5
3. 制御ファイル：再作成スクリプト取得後に物理構造変更-	補-9
4. 制御ファイル：バックアップなしのリカバリ-----	補-15
5. REDO ログ・ファイル：全メンバーに障害（CURRENT 以外）	補-19
6. データファイル：NOARCHIVELOG モードでバックアップ なし-----	補-23
7. データファイル：ARCHIVELOG モードでのリカバリ-----	補-27
8. データファイル：オンライン状態での完全リカバリ-----	補-29
9. 一時表領域の障害-----	補-33

付録

1. チェックポイントに影響するパラメータ-----	付-1
2. データベースの起動・状態変更・停止のコマンド-----	付-3
3. 多重化の設定-----	付-7
4. オンライン状態での完全リカバリ-----	付-11
5. OCOPY コマンド-----	付-15
6. データファイルの新規場所へのリストア-----	付-17
7. 未設定位置からのアーカイブ適用-----	付-19
8. 手動アーカイブ-----	付-21
9. 手動ログ・スイッチ-----	付-23
10. データベース全体のバックアップ・モードの変更-----	付-25
11. Data Pump Export/Import ユーティリティ-----	付-27
12. Recovery Manager 概要-----	付-43
13. フラッシュバック機能概要-----	付-47
14. Flashback Query-----	付-51
15. Flashback Version Query-----	付-53
16. Flashback Transaction Query-----	付-57

CONTENTS

17. Flashback Transaction-----	付-61
18. Flashback Table-----	付-69
19. Flashback Drop-----	付-71
20. Flashback Database-----	付-79
21. 制御ファイルの再作成-----	付-87
22. Oracle 11gからの障害ログの管理-----	付-89
23. Oracle運用管理に役立つ情報-----	付-93